

認知症作業療法 活動計画（概要）

熊本県作業療法士会では、本年度より平成27年より活動をしていた認知症PJTを改め事業部認知症班として活動を行っている。また、認知症アップデート研修は専門教育部にて行っている。ただし、新型コロナウイルスの影響を受け、本年2月に予定していた認知症アップデート研修（応用編）は中止となった。今後は8月にオンラインにて認知症アップデート研修（基礎編）を開催する予定である。コロナ禍の中、また、災害の中できることを粛々と行っていく。

認知症アップデート研修（基礎編・応用編）

平成28年度より開始した認知症アップデート研修は累計361名の県士会員が受講した。これは県士会員の2割にあたる。また、応用編も毎回多くの申し込みがあり好評をいただいている。行政、認知症専門医、若年性認知症コーディネーターなど日頃聞くことができない多くの他業種からの講義が聞ける点が人気の所以のようだ。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基礎編	122名	82名	81名	76名	50名（予定）
応用編	—	60名	57名	中止	—

認知症の人と家族の会との連携事業

昨年度は、毎月第3日曜日に行われている、「みどりの小路」（若年性認知症当事者家族の集い）に加え、リフレッシュ交流会や熊本ヴォルターズとの啓発イベント、若年性認知症九州沖縄本人交流会など多くのイベントに参加できた。その影響もあり10月10日に行われる世界アルツハイマー・デーのイベントでは講師役としてお招きをいただいている。



九州沖縄本人交流会



認知症啓発イベント



みどりの小路

今後の展開

- ・ 認知症PJTから事業部に移行し、今まで参加をしていなかった一般病院の会員が「みどりの小路」等に参加するようになった。今後は「家族の集い」にも積極的に参加し「認知症」を当事者目線で考えることができる会員を増やしていきたい。